



様啓内閣ト西政党トノ調停ハ結

局其端緒ヲモ開クニ至ラスシテ不調

帰シ候其顛末太田翰長ヲ以テ

申入レ候通り、所庄候其當時小生

ノ調停ヲ承認シ居ラルニ関ラス尚ホ

裏面ヨリ属僚ヲシテ小策ヲ弄セシ

メ反對派ヲシテ小生ノ調停ニ疑惑

生セシムルニ至リシハ頗ル遺憾トスル處ニ

所庄候然レは内閣諸公小生ハニ之ヲ責ムルノ

愚ヲ為スモノニハ無之寧口尚ホ進シテ

今日ニ處スルノ策ヲ献シ度存候

再昨日再度ノ停會ヲ余セラレシヨリ

窺カニ政党者流ノ内情ヲ探クルニ四五

ノ領袖ヲ除クノ外皆安快ノ成立セ

サリシヲ遺憾トセサルモノナク停會期間ニ





サリシテ遺憾トセサルモノナク停會期間ニ

何トカ局面ノ展開センコトヲ望ムコトハ明

カニ候得共何分行掛上進ムコトモナラ

ス退クコトモナラス有様ニ立至リ居リ

脱党ヲシテ追モ安快ヲ主張スルノ勇

氣アル者ナク荏苒日ヲ経テ停會ノ解

カルニ曉ニハ矢張前日ノ勢ヲ以テ地租案

ノ否決ヲ見ルコト存セラレ候事此ニ至

レハ政府モ解散ヲ断行スルノ止ヲ得サルニ

至ルヘト存候此ノ如キハ快ハ則チ快ナラ

シ又究モ角内閣ノ威信モ暫ラク保

ツヲ得ベカラシタリ乍ラ此ノ如シハ行掛

リハ益ス結ホレテ獨リ地租案ノ一ノミ

ナラス政府ノ經營シタル海軍擴張東

洋問題ニ関スル諸經營ハ此水泡歸

シ國運ノ伸張ヲ緩フスルハ勿論兩三



レ國運ノ伸張ヲ緩ラズルハ勿論兩三  
年来經濟界ノ不振ハ其極ニ達シ  
居ルノミナラス總選舉ノ爲ト又凶作ノ  
爲ト地方ハ大ニ疲弊シタル今日ニ當リ  
如何ニ行掛リトハ云ヘ解散ヲ断行シテ  
再ヒ地方ヲ騒カス如キトアラハ經濟界ハ  
終ニ救フ可ラサル迄ニ沈淪致候事ト  
存候此ノ如キハ實ニ慎ニテ避ケサル可ラ  
サル處ト存候故ニ諸公ニ望ム処ハ寬  
宥ナル雅量ヲ以テ彼等ノ希望ヲ容レ  
地租案ヲ撤回セラレ之ニ更ルニ海軍擴  
張其他ノ諸經營ハ全然政府安未ニ  
同意セシメラル事ニ御同意有之度  
候而シテ其財源ハ第十八議會迄ニ精  
確ナル經畫ヲ立ツルヲ明言シテ二十六  
年度ニ對スル不足額ハ極メテ少額ナ  
レハ事業繰延等ニヨリテシテ出スルト



レハ事業繰延等ニヨリテシテ出ス  
セハ其事業ノ繰延ナルニ及ラ除ク外  
全然政府ノ希望ヲ達スルコトヲ得改党  
者流ニ執中スル地租案ヲ撤回セシ  
テ他ニ反對スルノ理由ヲ見出スコト能ハル  
ヘシト存候今日場合地租案ヲ撤回ス  
レハ稍ヤ政府ノ敗局ナルニ似タレトモ元來公  
約ノ年限付地租ナレバ他日更ニ他ノ必  
要ニヨリテ増徴スルコトアリトモ今回ハ之  
ヲ還付スルコソ政府ノ諸計畫ヲ遂行  
スル上ニ於テ便宜ト存候然ラズシハ前  
申述候通益々行掛リシ強クシテ  
挽回不可ラサルニ至ルコト存候何卒此  
際ハ忍ビテ大讓歩ノ御覺悟ヲ切望  
仕候恭テ上申入度ニ存候得共昨  
今ノ場合種々ノ浮説流言ノ行ハル  
コトヲ避ケ度存候間以書面申入候



申述候通益ス行掛リテ強クシテ  
挽回ス可ラサルニ至ルト存候何卒此  
際ハ忍ビテ大讓歩ノ御覺悟ヲ切望  
仕候恭テ上申入度ニ存候得共昨  
今ノ場合種々ノ浮説流言ノ行ハル  
トテ避ケ度存候間以書面申入候  
拙文語ヲ為サル巨モ可有之存  
候何卒御推讀ヲ願上候奴々

敬具

十一月二十二日

近衛篤磨

桂内閣總理大臣閣下